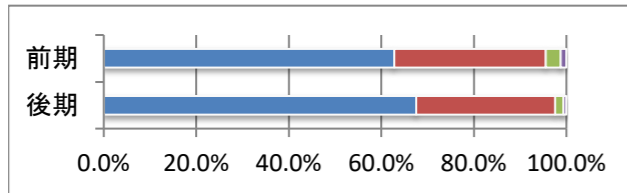


R2年度 佐賀大学教育学部附属小学校 後期学校評価(前期との比較)

1 学校や学級の目標(がんばること)を知っていますか。

【児童】

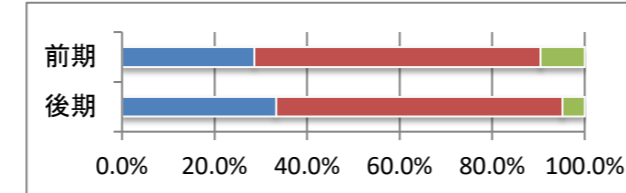
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	67.5%	30.1%	1.8%	0.6%	100%
前期	62.8%	32.7%	3.3%	1.2%	100%



1 学校は、学校(級)便り等で学校の教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

【職員】

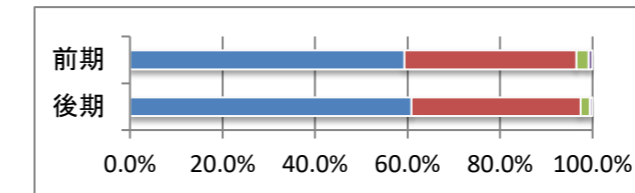
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	33.3%	61.9%	4.8%	0.0%	100%
前期	28.6%	61.9%	9.5%	0.0%	100%



1 学校は、学校(学級)便り等で、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	60.9%	36.5%	2.1%	0.5%	100%
前期	59.3%	37.2%	2.6%	0.9%	100%

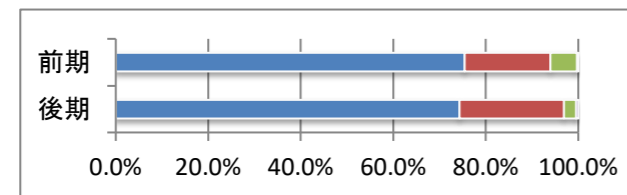


・全体的に前期に比べいくらか改善している。児童は学級の目標や頑張ることなど知っている割合が増えたものの一部の児童はよく知らないでいる。すべての子に浸透させる必要があり、教職員が個別にかつ繰り返し伝えていきたい。教職員自身も学校(級)便り等を通じて、保護者にも教育目標や教育方針を発信が「あまりできていない」と感じている部分がある。このことは、保護者の大幅な改善につながっていないことにつながる。職員が、常日頃意識しながら、繰り返し必要な情報を丁寧に伝えていくようにする。

2 学校便りや学級便りなど、学校からのプリント類をお家の人に渡していますか。

【児童】

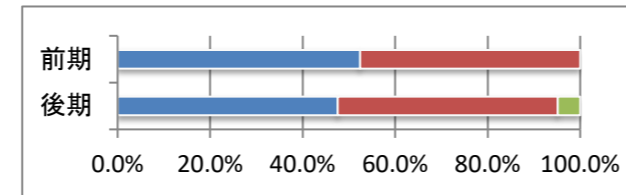
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	74.3%	22.6%	2.6%	0.5%	100%
前期	75.4%	18.6%	5.7%	0.3%	100%



2 学校は、学校便り、学級通信やHP等で学校や学級の様子を伝えるように努めている。

【職員】

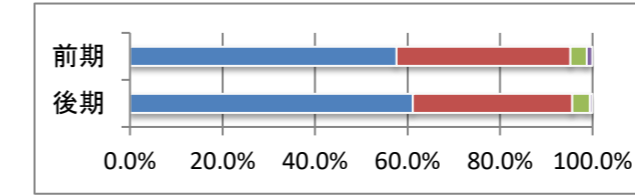
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	47.6%	47.6%	4.8%	0.0%	100%
前期	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%	100%



2 学校では、学校・学年・学級通信・ホームページ等で学校の取り組みや子ども様子を伝えている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	61.2%	34.4%	3.9%	0.5%	100.0%
前期	57.6%	37.6%	3.5%	1.3%	100.0%

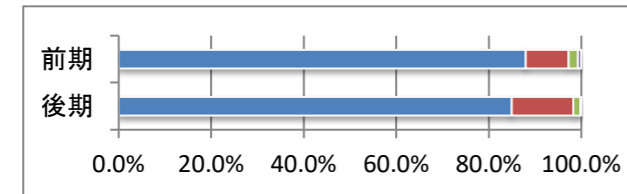


・学校は、通信やホームページで学校や学級での児童の様子を知らせようと努めているが、職員はまだ、不足していると感じている。児童については改善してきており、保護者も同様に改善してきていると感じている。しかしながら、まだ少数ではあるが伝わっていない部分がある。次年度は、お便り等が確実に保護者の手に渡るように児童の様子を把握しながら個に配慮した指導が必要であり、きちんと渡す習慣を徹底させるようにしていきたい。
・保護者に至ってはしっかり伝わっているように感じてもらっている部分があるが、前期同様、未だに、5%近くの保護者が、学校の取り組みや子ども様子が伝わらないと感じている。新型コロナウイルス感染症予防のため、参観の機会や学校に立ち入る機会が例年に比べ減ったことを考えると、次年度も、学級通信や、学校便り、継続的にホームページからの発信など、より積極的に情報提供を行っていくことが必要だと考える。

3 学校の行き帰りは、交通事故や知らない人に気をつけたり、寄り道をしたりしないようにしていますか。

【児童】

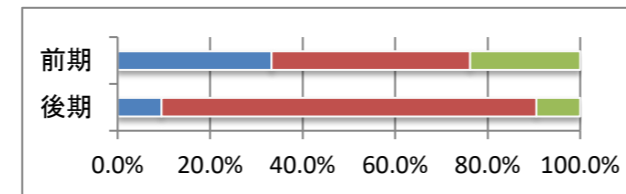
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	85.0%	13.3%	1.5%	0.2%	100%
前期	88.0%	9.3%	2.0%	0.7%	100%



3 学校は、交通安全、危険箇所等に気を配り、火災・地震・水害・不審者への対応について指導を行っている。

【職員】

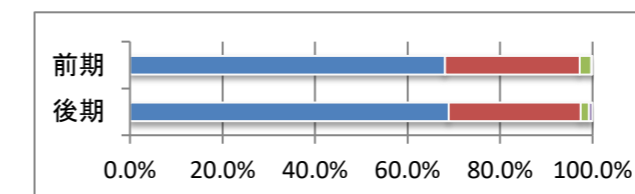
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	9.5%	81.0%	9.5%	0.0%	100%
前期	33.3%	42.9%	23.8%	0.0%	100%



3 学校は、交通安全や災害(大雨 台風 地震)、不審者等、子どもの安全を考えて対応している。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	68.9%	28.5%	1.9%	0.7%	100%
前期	68.1%	29.1%	2.6%	0.2%	100%

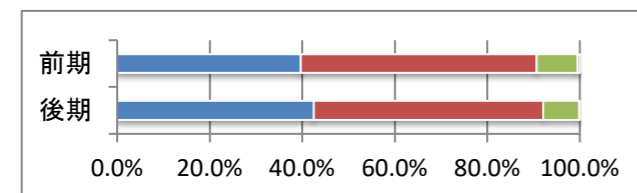


・登下校における交通事故や災害、不審者等の安全面については、前期同様に児童も保護者も高い割合で「できている」の方に回答している。教職員の意識としては、学校の取り組みについて、不十分だとする割合はいくらか改善しているものの「よくできている」については減少している。今後は、想定外の災害等も含め、様々な面からの具体的な取り組みを見直し、基本的なマニュアルの更新と状況に応じた対応の共有と徹底を常にしていかなければならないと考える。その際、一部の職員だけで決めるのではなく、多方面から情報を集約したり、全職員の考えも踏まえ、更新していく。また、児童自身にも考えさせたりしながら、危機予知能力や危機回避能力を身に付けさせていく取り組みが大切である。次年度は、日常的に短時間でできる具体的・実践的な訓練や安全指導を行ってきたい。

4 授業中は、先生の話をしっかり聞き、自分の考えを進んで伝えていますか。

【児童】

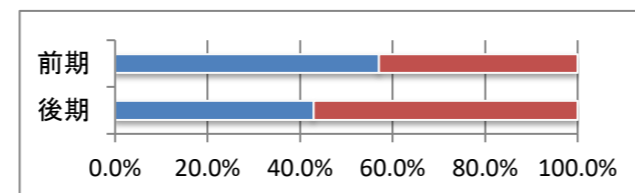
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	42.5%	49.6%	7.7%	0.2%	100%
前期	39.7%	51.0%	8.8%	0.5%	100%



4 我々は、授業力の向上に努め、子どもたちが学力を身につけるような効果的な授業を行っている。

【職員】

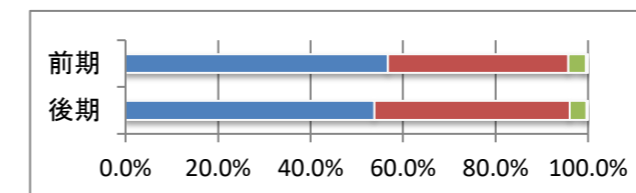
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100%
前期	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100%



4 学校は、授業力の向上に努め、子どもに学力を身につける効果的な授業を行っている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	53.8%	42.2%	3.7%	0.3%	100%
前期	56.7%	39.0%	3.9%	0.4%	100%

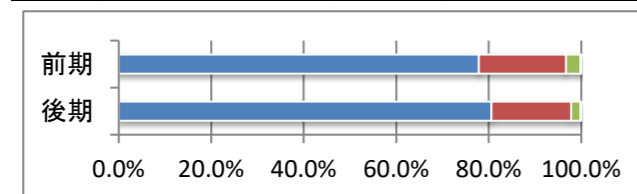


・児童では前期に比べ「よくできる」がいくらか増え、やや改善した部分もあるが、児童の中には、10%未満であるが「あまりできていない・できていない」と感じてしており、両極化の傾向が見られる。聞くことや表現することへの必要性や意義などの理解や意識付けが必要である。教師も「よくできている」の割合が減少していることから、個別の対応を行ってはいるものの、今一度、どこでどのようなことに困っているのかについて丁寧な取り組みが大事だと考える。児童の地力を付けられる、授業改善をしつつ、学力保障を行うためにも、継続的に地道な取り組みが必要である。保護者の意識では前期とほぼ同様な様相であるが、中には「よくできている」の若干の減少や、依然として5%近くは「あまりできていない・できていない」と感じていることから、より個の実態や課題に応じた学習を保障できるような取り組みをしていかなければならないと考える。

5 学習の準備や宿題をきちんとしていますか。

【児童】

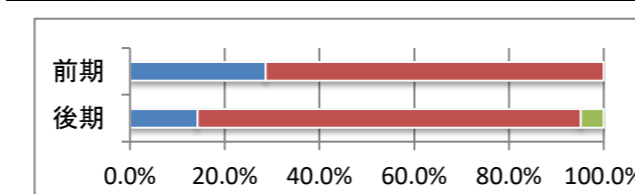
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	80.6%	17.2%	2.0%	0.2%	100%
前期	77.9%	18.8%	3.1%	0.2%	100%



5 我々は、学習の準備、話し方、聴き方等学習習慣の定着に努めている。

【職員】

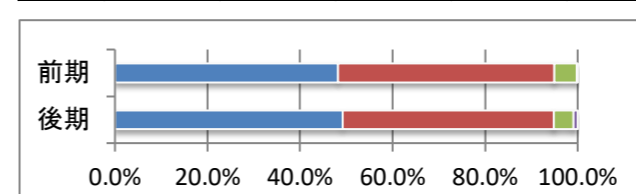
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	14.3%	80.9%	4.8%	0.0%	100%
前期	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100%



5 学校は、学習準備や子どもの話し方、聞き方等、子どもの学習習慣の定着に努めている。

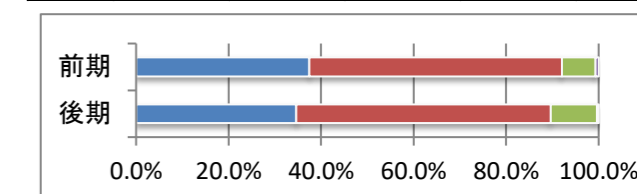
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	49.2%	45.7%	4.2%	0.9%	100%
前期	48.2%	46.8%	4.8%	0.2%	100%



1 家庭では、翌日の学習準備や宿題について、子どもに声かけを行い、結果についても確認している。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	34.6%	55.0%	10.0%	0.4%	100%
前期	37.4%	54.7%	7.2%	0.7%	100%

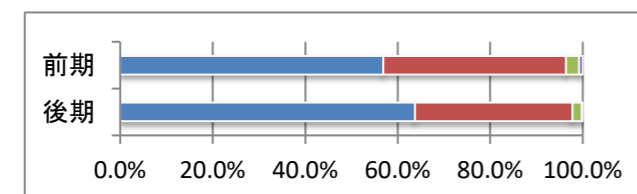


・児童も保護者も「よくできている」「大体できている」等の割合は、前期とほぼ変わらないが、職員では「よくできている」の割合が減り「あまりできていない」と思う職員もいることから、意識した取り組みの徹底が不十分だったと考える。新型コロナウイルス感染症予防のためいつも以上にできないこともあるが、工夫次第ではできることもあるので、できるようにするための努力と工夫を常に考えて取り組んでいく必要がある。家庭での「学習習慣」については、前期とあまり変わらないが、できている方が減りできていない方が増えている様相があり、児童の意識の改善を促すとともに、家庭との連携が必要だと考える。宿題の確認を保護者にさせていただいている取り組みがあるが、まだ不十分な点もあり、保護者との連携をより一層図り、児童が学習習慣を定着できるような具体的なやりとりを行う必要がある。

6 月の生活目標や自分や学校のきまり・約束を守っていますか。

【児童】

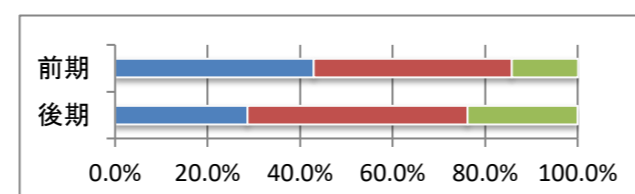
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	63.7%	34.1%	2.0%	0.2%	100%
前期	56.9%	39.5%	2.8%	0.8%	100%



6 我々は、挨拶・後始末・歩き方など生活習慣の定着に努めている。

【職員】

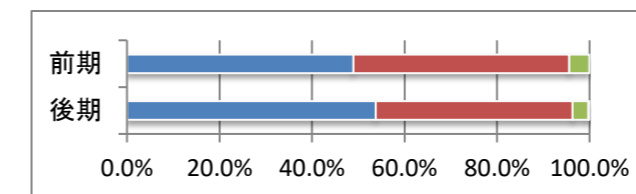
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	28.6%	47.6%	23.8%	0.0%	100%
前期	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	100%



6 学校は、挨拶や返事、後始末等、生活習慣の定着に努めている。

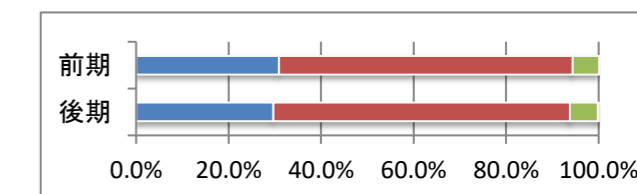
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	53.8%	42.5%	3.5%	0.2%	100%
前期	49.0%	46.6%	4.4%	0.0%	100%



2 家庭では、挨拶や返事、後始末、自力登校等、生活習慣の定着に努めている。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	29.7%	64.1%	6.0%	0.2%	100%
前期	30.9%	63.5%	5.7%	0.0%	100%

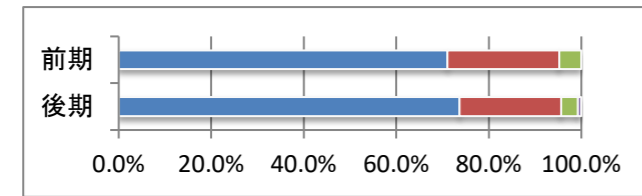


・挨拶については前期に比べ、かなり改善している傾向がある。後始末や、歩き方なども改善の傾向にはあるが、まだ不十分な点がある。自力登下校は、保護者の理解や協力により大多数は改善しつつあるが、見えないところでの送迎をする状況もあり、時々近隣の方からの苦情もある。バスの乗り方については、好ましい傾向にあり、前期同様に上級生の姿についてバス利用の方から褒めていただくこともある。育友会の下校時見守りもきちんと情報提供をしてもらっているので、安全な歩行などより望ましい登下校の姿になるよう、今後も家庭への啓発や取り組みや具体的な方策にもつなげていきたい。

7 学校や家で誰とでも仲良く勉強したり遊んだりしていますか。

【児童】

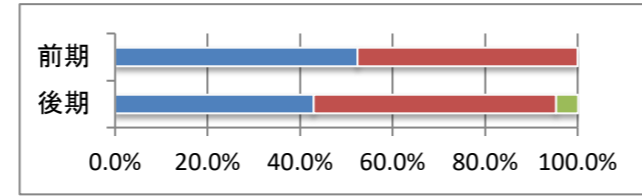
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	73.7%	21.9%	3.7%	0.7%	100%
前期	71.1%	24.1%	4.8%	0.0%	100%



7 我々は、思いやりを育てる指導を行うとともに、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めている。

【職員】

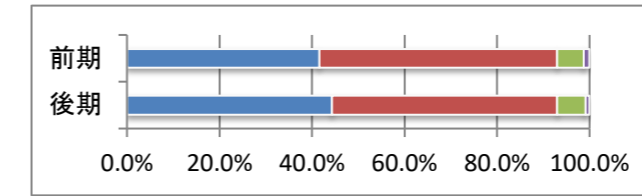
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%	100%
前期	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%	100%



7 学校は、思いやる心を育てたり、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めたりしている。

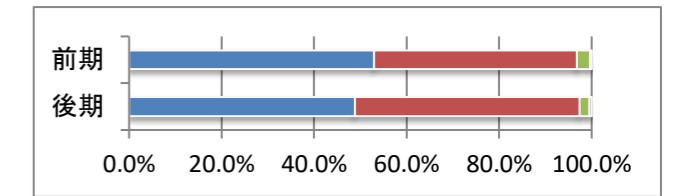
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	44.3%	48.7%	6.1%	0.9%	100%
前期	41.6%	51.4%	5.7%	1.3%	100%



3 家庭では、子どもに誰とでも仲良く学習したり、生活したりするよう声かけをしている。

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	48.8%	48.6%	2.1%	0.5%	100%
前期	53.0%	43.8%	2.8%	0.4%	100%

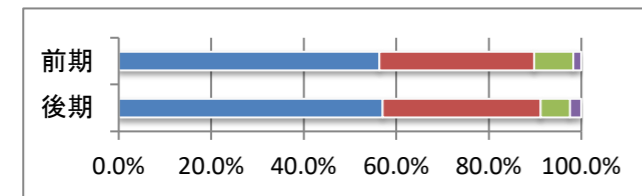


・児童、保護者ともに仲良く勉強や遊ぶこと思いやりの心やいじめの未然防止について、「できている」とする割合が増えている。日頃から防止の具体的な取り組みを継続的に行っている成果だと捉えることができる。しかし、まだ十分とはいえない点もあり、職員は後期の方が「できている」の割合が減少している。「いじめ」調査だけでなく、全職員で日頃から児童の変化を敏感に察知し、早期発見・早期解決に努め、保護者からの情報提供に対しても管理職を含め丁寧に対応していきたい。そのためにも、担任と児童一人一人のかかわる時間を定期的にかつ必要に応じて設け、子どもの悩みや困り感に寄り添う取り組みを進めていくようにする。(短時間の個別面談を繰り返すなど)

8 (低)お家で自分の仕事を決めて、忘れずにしていますか。
(高)児童会、委員会、縦割り活動で自分の役割を自覚し、学校や下級生のために活動できていますか。

【児童】

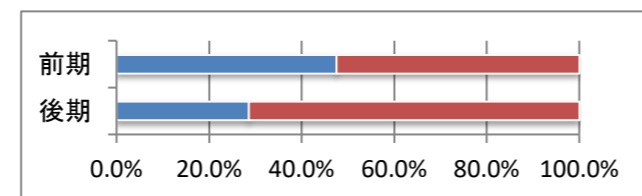
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	57.1%	34.1%	6.4%	2.4%	100%
前期	56.3%	33.5%	8.5%	1.7%	100%



8 我々は、児童会や委員会、縦割り活動を通して、児童の自治力を育成・向上させている。

【職員】

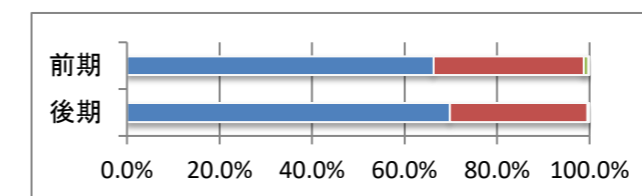
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100%
前期	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	100%



8 学校は、学級活動や児童会活動、縦割り活動等を通して、子どもの自治力を育てている。

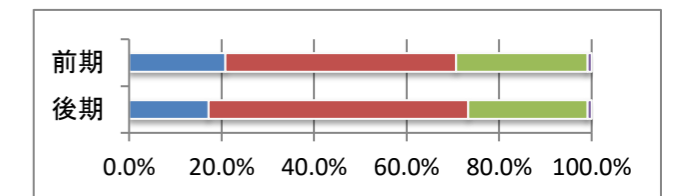
【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	69.8%	29.8%	0.4%	0.0%	100%
前期	66.3%	32.4%	1.1%	0.2%	100%



4 家庭では、子どもの仕事や役割を決めて、責任を持たせてさせている。

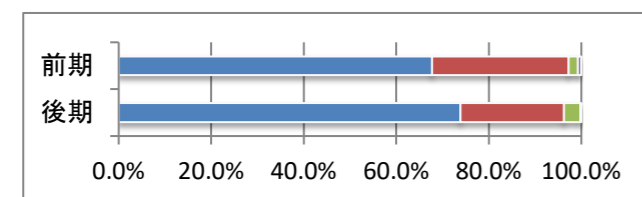
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	17.2%	56.1%	25.8%	0.9%	100%
前期	20.8%	49.9%	28.4%	0.9%	100%



・前期に比べ学校での取り組みについては、改善してきている傾向にある。しかし、職員では、「よくできている」の割合が減少している。コロナ対策のため思うような活動ができていない面もあり、工夫しながら児童の自治力を育成していきたい。
・家庭での取り組みとなると、毎回「あまりできていない・できていない」の割合が他の項目に比べて多いが、前期と比較すると「あまりできていない」の割合が低下し少し改善している。今後も家庭での取り組みを具体的に促していく

9 (低)自分が決めたことは、最後までがんばろうとしていますか。
(高)縦割り活動(なかよしタイムなど)で低学年の人が困らないよう、気を配れていますか。

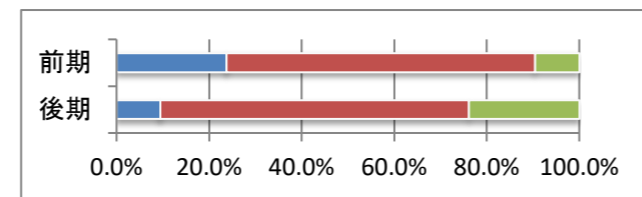
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	73.9%	22.3%	3.6%	0.2%	100%
前期	67.7%	29.5%	2.1%	0.7%	100%



9 我々は、縦割り活動(なかよしタイム等)を通して、リーダー性を育成している。

【職員】

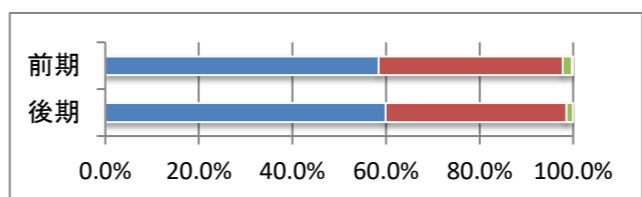
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	9.5%	66.7%	23.8%	0.0%	100%
前期	23.8%	66.7%	9.5%	0.0%	100%



9 学校は、子どもの自主性を尊重しながら、最後までやり遂げるようなリーダー性を育てている。

【保護者】

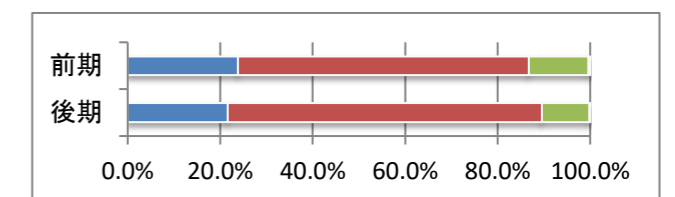
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	59.9%	38.7%	1.4%	0.0%	100%
前期	58.4%	39.4%	2.0%	0.2%	100%



5 家庭では、子どもの自主性を尊重しながら、最後までやり遂げられるよう、見守っている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
後期	21.6%	68.0%	10.2%	0.2%	100%
前期	23.9%	62.8%	12.9%	0.4%	100%

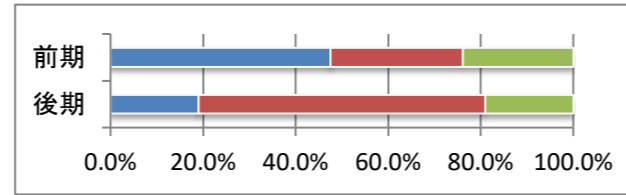


・児童は最後まで頑張ろうとしている割合が多く、前期に比べ「よくできている」の割合が増えた結果となっている。保護者も「よくできている」の割合が大半を占め、前期に比べ増えている。しかし、職員に至っては「よくできている」の割合が減り、「あまりできていない」が増加していることは、課題として捉えている証拠である。縦割り活動の場が減った(コロナ対策で縦割り遊びが減った)ことも考えられるが、限られた縦割り活動や、各学年・学級での「リーダー」としての資質の育成について検討し、今後限られた状況でも児童が活動でき、リーダー性が発揮できる場を位置づけていきたい。
・粘り強く頑張る児童を育てるためにも、家庭とも連携して具体的な取り組みをすることによって、励ましたり、認めたりしながら、児童に「最後までやり遂げること」のよさを体感させ伝えていくことが必要だと考える。

10 我々は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【職員】

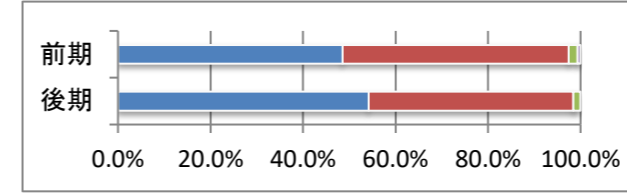
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
後期	19.0%	62.0%	19.0%	0.0%	100%
前期	47.6%	28.6%	23.8%	0.0%	100%



10 学校は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【保護者】

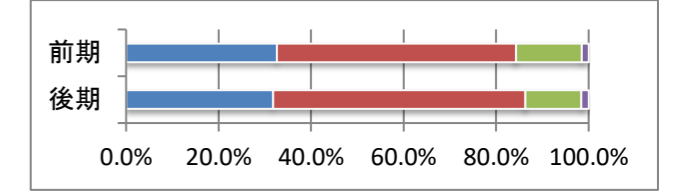
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
後期	54.2%	44.2%	1.6%	0.0%	100%
前期	48.6%	48.8%	2.0%	0.6%	100%



6 育友会活動に積極的に関わり、巡回当番や委員会・ボランティアに参加している。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
後期	31.8%	54.5%	12.1%	1.6%	100%
前期	32.6%	51.7%	14.2%	1.5%	100%



・保護者で育友会活動への関わりが十分ではないと回答している割合が、昨年度から前期と比較しても減少している。新型コロナウイルス感染症予防のため限られた活動の中、何とか工夫して協力いただいているおかげと考える。学校としても早めに様々な情報を提供し、理解いただいたり協力を依頼したりすることで、都合を合わせていただきやすくなったと考える。今後も学校から常に早め早めを意識して情報提供や案内をしていきたい。

・保護者ボランティアについては、定期的なものも、校外学習の引率などの臨時的なものも含めて、積極的に協力して下さる育友会のよき伝統を継続していただくよう、必要に応じて学校からの依頼を続けたい。また、職員も保護者に頼りすぎたり任せてばかりではないよう、できる範囲で協力したり連携しながら、積極的に育友会活動にかかわっていききたい。